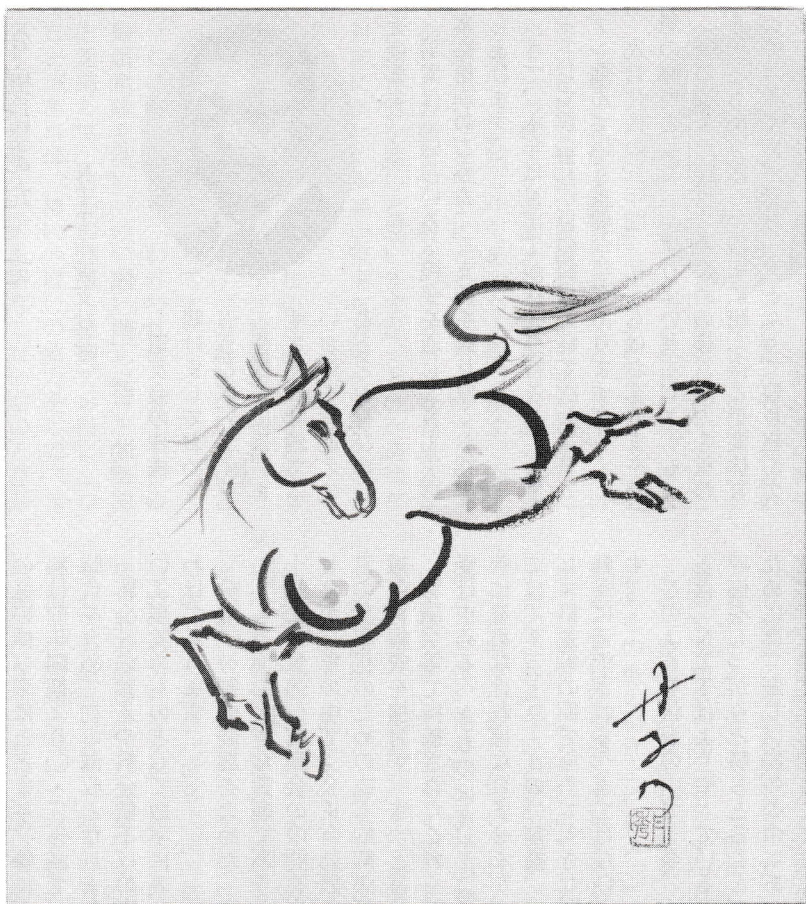


電友会四国連合会報

第 69 号

2. 1



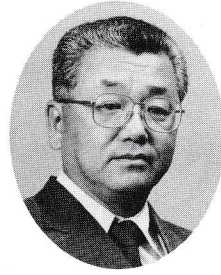
目次

年頭にあたって (NTT四国支社長)	二
年頭ごあいさつ (電友会四国連合会会長)	三
年金はこうなる	三
私は今	三
秋の叙勲 (菅優さん・吉井啓郎さん)	五
電気通信産業功労賞を受賞 (上田昇さん)	六
電信電話記念日の表彰	六
NTT情報	六
ドライブスルーATM設置	六
「NTTインフォメッセ松山」を開設	六
地域ニュース	八
愛媛電友会第二八回総会	八
電徳徳島温古会第二八回総会	八
NTTOB秋季テニス大会 (松山)	八
「小さな親切運動」を展開 (高知)	八
余 栄	八
敬 弔	九
表紙のことば	九
ハテナ?	九
テルウェル便り	九
随 筆	十
北 哲朗 福本 豊 山口 満夫	十

年頭にあたって

NTT四国支社長

佐田 啓助



電友会の皆様、
明けましておめで
とうございます。
皆様方には、ま
すますご壮健でよ
いお年をお迎えの
こととお喜び申し

上げます。
平素は、いろいろな機会を通じてNTT事
業に格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼申
し上げます。

さて、本年はNTTが株式会社としてスタ
ートしてから五年目の節目を経て次のステッ
プへ進んでいく重要な年であります。

民営化後の五年間、私どもはお客さまを発
想の原点として、「よりよいサービス」を、
「より安く」提供するための経営努力を重ね
るとともに、厳しい競争に耐え得る企業体質
づくりのため、全社一丸となって取り組ん
でまいりました。

その結果、業績もこれまではほぼ順調に推
移し、幾たびかの「料金値下げ」を行うなど
民営化の効果をお客様に還元することができ
ました。

一方、我が社を取り巻く経営環境は年ごと
に厳しさを増しており、先に発表された元年
度の間接決算では、経常利益は前年同期より
一九％増の二、〇三一億円となったものの営

業収入をみますと、電話サービスは二・一％
の低い伸び率にとどまり、特にダイヤル通話
料は前年同期より〇・三％減で、旧電電公社
時代を含めて初の減収となりました。
新会社の参入や料金値下げの影響が、いよ
いよ現実のものとして数字に表われはじめた
わけです。

分離、分割の問題を含めた「会社法の見直
し」も当面の大きな課題でありまして、昨年
十月に電気通信審議会の間答申が出されま
したが、その中で「公正有効競争の実現、経
営の効率化のための抜本的解決策として、組
織の再編成を検討すべき」と言われています。
審議会等で指摘されたこれら諸問題のうち、
受け止めるべきものは真しに受け止め、改
善に努めなければなりません。分割につい
ては、ネットワークの分割損、地域間のサー
ビス格差等の面で極めて大きな問題があり、
軽々に選択されるべきではない、考えていま
す。

このような状況の中で、今、一番大切なこ
とは「NTTはよくやっている」と世の中の
評価をしっかりと勝ちとることであり、この
ためには、厳しい競争の中にあっても、単に
被害者意識でとらえることなく、「より一層
生産性を高め、サービスの向上に努めながら
より安く、より使いやすい電気通信サービ
スを提供する」との原点をしっかりと踏まえて、
全社員が全力投球することだと考えています。
四国におきましても、ポケットベルサービ
スにおいては、愛媛、香川両県において激烈
な競争を展開しており、さらに市外通話サー
ビスにおいては、いよいよ本年には高松、松

山へ新規参入会社が接続点を設置し、本格的
な競争に突入するわけです。

これらの競争に対応するための具体的施策
の一つが、六三年から実施している「市場に
見合った業務運営体制への移行」でありま
すが、これまでに一三ブロック中九ブロックの
移行を完了しました。また、並行して「お客
様を中心据えた業務運営体制」への移行も
進めております。これは、これまでの「ライ
ン別、職能別業務運営体制」を抜本的に見直
して、お客様中心の組織や仕事の仕組みにし
ていこうというものです。

諸先輩の皆様方が築いてこられた四国の電
気通信事業は、何としても、我々NTT四国
社員の手で守りぬかねばなりません。

このために、地域とのつながりを一層深め、
四国のそれぞれの地域特性に見合った仕事の
進め方を一層推進していきたいと考えていま
す。

分離、分割を含めたNTT事業の見直し問
題についても、今後地域の皆様によくご理解
をいただくよう努めなければなりません。

皆様方は、我々の先輩であるとともに地域
社会において厚い信望を得ておられる方々で
ありますので、今後とも地域社会と我が社の
接点になっていただき、ご指導ご支援を賜り
ますようお願いする次第です。

皆様方は今、それぞれ第二の人生を有意義
にお過ごしのことと存じますが、地域の世話
役等として幅広く活躍されるかたわら、趣味
やスポーツを通して積極的に若い人たちとも
接し、大いに若がり、明るく張りのある毎
日をお過ごしいただきたいと存じます。

年頭ごあいさつ

おわりに、皆様方のますますのご健康とご多幸並びに電友会のご繁栄を心からお祈り申し上げます。

電友会四国連合会会長

六 車 美 一



平成二年の新年にあたり、会員の皆さまにはよいお年をお迎えのことと存じお喜び申し上げます。

去年一年間を振り返りますと、NTTでは民営化後、順調な業績をあげて来られました。が、いっぽう、政治・社会の面で不測の試練に遭い、多端な年であったと思います。迎えた新年は、NTTにとって、引きつづき競争会社との競合や、料金引下げへの取り組みなど御苦労が多いと思いますが、どうか適切な対応によって事業の堅実な発展を図って欲しいものであります。

いっぽうNTT会社法の見直し、すなわち分離・分割すべきか否かの論議が熱を帯びて来るとも予想されます。われわれOBにとっても気になるところです。

この時にあたり、われわれは、NTTへの帰属意識を高め、めいめい地元のNTT機関と連携して、自らの知識・経験をお役に立つことがあれば、精いっぱい協力をして、NTTの発展に少しでも寄与したいものと存じます。何と申しましても、NTTの堅実な発

展がなければ、OBの未来も明るくなり得ないと思えます。

次に、われわれにとって、最も身近な問題である共済年金について申しますと、平成元年度の年金改定法律案は、三月に国会提出がなされたものの、リクルート問題や消費税問題のあおりを食って、審議が行われないうまま先送りされ、去る九月二日から始まった臨時国会に継続審議として引きつがれ、ようやく審議の場に登場しました。結果は別稿のとおりであります。今回の改定も従前の保障額（昭和六一年三月三十一日現在で新法による年金額再計算をした結果、年金額が下ってもその後の引き上げによって従前額に到達するまでは従前額を支給するもの）に達するまでは実質は上らないので、大きな望みをかけるには参らないと思えます。

年金制度の改善については、NTTOB団体としては、他の団体と呼応して、関係方面に陳情を続けておりますが、高齢化社会への適応問題、JRおよびタバコ産業の共済年金の救済問題などで、毎年厳しさを増していることは事実であります。しかしこれらの悪条件に押しつぶされないよう、今後いっそう活発に改善要求をしなければならぬと思えます。

次に、われわれOB団体の運営の在り方についてであります。NTTOBの全国的団体である電退連（日本電信電話退職者団体連合会）の最近の考えでは、OB団体の活動は単に年金問題についての分野のみとどまるべきではなく、もっと広い活動をNTTとの間ですべきではないか、退職者の精神的・物

質的向上を図るため、NTTともっと密接に交流し、両者相互の協力、援助の途を開いて行くべきではないか、という気運が出来つつあります。OBの知識、技能や社会的地位経験をNTT事業に役立ててもらえる場が広くできればまことに結構なことでありましょう。

平成二年はどういう年になりましたか。会員のみなさまにとって御健勝と御多幸の年でありませう。お祈りし、NTTの御繁栄を期待申しあげ年頭のごあいさつと致します。

〃年金はこうなる〃 (要旨)

- 平成元年四月に遡り、物価スライド分〇・七%、財政再計算分約五%がアップされます。
- 但し、この五%から六二年アップの〇・六%、六三年の〇・一%と、前記の〇・七%を差し引きますので、現実には三・六%程度のアップとなります。
- 計算された額が従前額を下回る場合は、従前額は保障されますが、現実には上がりません。
- 精算は今年二月一日(目途)に行われます。
- 今年から完全物価スライド制になります。
- 年金支給時期は年六回、偶数月となります。

私は今

○太田正一(松山)

六年前、潰瘍で胃を全部切除しましたが、現在は何でも食べる事ができるようになりました。

また、朝食前の三十分間、歩いて石手寺へお参りに行くのが適当な運動になっています。

退院して間もなく、碁のけい古を始めました、囲碁教室へは毎週通っているもの、碁は一向に上達しませんが、親しい友人が沢山できました。

みなさん、心身共に若いのがよい刺激になります。健康保持に留意しながら、碁の楽しさを味わいたいと願っているこの頃です。

○ 穂 坂 昇 (松山)

日本の歴史二十六巻、世界の歴史二十五巻を毎夜のように繰り返し読んで忘れ、読んでは忘れしながら、もう四回目をいっております。

「世界」の方は、共済会在任中に発行され、本屋から毎月配本を受けたのですが、「日本」の方は、電電にいた当時に発行され、多忙で気がつかなかったところ、その後新聞広告で古いものが全巻揃って「そごう」に有ることを知り、直行して幸運にも一足違いで入手できたものです。

夜半は、これで退屈せずに過ごしています。

○ 柳 瀬 清 吾 (松山)

退職してはや十二年余、庭木の手入れ、野菜作り、果樹栽培、釣り、旅行に明け暮れています。

土いじりに興味を持ったのは、戦中戦後の食糧難時代からで、果樹といっても妻と二人で食べ、隣近所へ配る程度ですが、それでもサクランボ、梅、ユスラ、ビワ、桃、梨、ブドウ、栗、柿、キウイ、みかん(十種類)と多種多様です。

素人のため失敗もありますが、毎月の収穫を楽しみ、また四季の移り変わりを満喫しながら、退屈もせず暮らしています。

○ 古 岡 龜太郎 (久万)

昭和二十八年にカヤぶきの屋根をふき替えた時、天井裏で火縄銃が見つかったのが武器収集のキッカケとなり、太刀、脇差、鎧通し、槍、弓、矢、十手、鎧、兜などを集めたが、念入りに手入れしていると心が休まります。

この他に陶器、剥製類。また十年前程からはボケ防止に瓢箪、二米の特大ヘチマ作り、余生を楽しんでおります。

なお、これについて、四十六年八月十二日(集めています武具)、六十一年九月五日(ざらり特大ヘチマ)の二回新聞で、また五十二年一月十九日(我が家の宝物)にはNHKテレビで報道されました。(種の欲しい方はさし上げます。)

○ 吉 村 サヨ子 (宇和島)

長女の家が同じ町内で四軒か離れていないため、一つの家に住んでいるようなもので、夜も昼もおかまいなしに二人の孫娘に襲われています。

両親が勤めているので、孫達が学校から帰ると二人の宿題から翌日の学校の準備など、忙しい毎日を送っております。

しかし、その合間を縫って、一緒に退職したお友達と小旅行に出かけたり、日曜日毎に喫茶店でお茶デートをして、女三人おしゃべりのひとときを楽しみ、ストレス解消につとめております。

○ 松 木 竹 男 (壬生川)

私の住む丹原町は果樹園芸が盛んで、見様見真似で桃、柿、スモモ、巨峰、ビワ、桜桃、無花果、柑きつ類等々、狭い庭に欲く張って植えた木が、もう八年も経つとすっかり大き

くなりました。

果実は、木で完熟させると糖分がのり、取りたてのものは、ひと味違い、格別です。

今は、有機肥料や減農薬栽培とか言って遊んでいますが、暇をみてはゼンゴ釣りに出かけ、手造りのサビキで月二〜三回、あちこちの波止に通っております。

○ 岩 田 春 男 (高松)

退職直後はパートとして働いていたが、止めてからは近くに友人も少なく、家に籠りがちでした。

そんなある日、友人に誘われてクロッケー競技に参加したところ、友人もふえ、健康と人々との交流も多くなった。

また、ボランティアとして、各小・中学校、公共施設の庭木の剪定作業に毎週火曜日の午前中従事する一方、地区老人会副会長、自治会役員として多忙な毎日を送っています。

そんな関係で、他地区の電友会先・後輩の皆様との交流が少なくなったのが心残りです。

○ 大 熊 豊 (高松)

七十を過ぎて竹とんぼを作り始めた。子供に還ったのか、孫と遊ぶためなのか、いずれにしても、より良いものをと向上心も湧く。

戦時中、複製機は安定度がよいと言われていたので、二枚羽の竹とんぼを作ってみたら飛行距離が長かった。さらにヘリコプターの真似をして十字羽のものも作ったが、確かに高く飛んだ。

「こんな変わった竹とんぼを作るのは、日本中でおじいちゃんだけだよ」と威張ってはみたものの、孫に嘘をついたのでなければよいが?

○ 村 川 清 子 (高松)
 平成元年九月二十四日、高野山奥の院へ参拝しました。

昭和五十年に四国八十八ヶ所順拝を始め、その後も毎年一回必ず順拝し、その結願として高野山奥の院へお参りしたのだから、今年で十五回になります。

結願以外にもお参りしてはいますが、何時行っても春夏秋冬それぞれの風情があり、さすがに暑さを覚えます。

高血圧と心臓肥大の持病で健康とはいえませんが、これからも四国八十八ヶ所の順拝を続けたいと思っております。

○ 西 山 政 雄 (丸亀)

昭和六十三年三月、丸亀駅は高架になり、エスカレーターも出来、四月にはご存じの瀬戸大橋が開通し、電車が走っています。

続いて十月からは、駅前広場の地下駐車場(地下二階)の工事が始まり、二年二月完成の予定です。

美術館、図書館は駅前西側に三年春完成の予定、また駅前正面地域は、再開発地域に指定され、天満屋百貨店が来る予定です。

工事完成の暁は、ぜひ丸亀へお越し下さい。昔の丸亀駅周辺の面影は全くありません。

○ 三 浦 幸 子 (徳島)

豊かさの中で思うこと!!

カラフルな街のショーウィンドー、豪華なメニュー、ずらり並んだ電気製品、まさに豊かさで溢れる平和な時代に、夢の到来を思わせる。

こんな豊かさがどこまで続くのか? まだまだ使える品物の惜しげもないポイ捨て、新製

品にすぐとびつく現代感覚等に、その裏の代償が気になる。

一方でゴミ問題や環境問題が論議される現在「豊かさもほどほどに」と考えるのは、オバタリアンのせいでしょうか?

○ 氏 原 常 世 (高知)

退職の翌年から、主人と二人で高知市で旭ヶ丘保育園を開いてはや十四年を迎え、第一回卒園生が来春大学生となりますが、月日の流れの早さが身にしみている今日この頃です。

この仕事を通じて、多くの保護者の方々の交流ができ、また成長する子供達を見守りながら老後の生き甲斐を感じさせて貰っています。

秋の叙勲

平成元年秋の叙勲に際し、多年にわたり電気通信事業に貢献されたご功績により、次の方々が叙勲の栄に浴されました。まことにおめでとうございました。

○ 勲四等瑞宝章

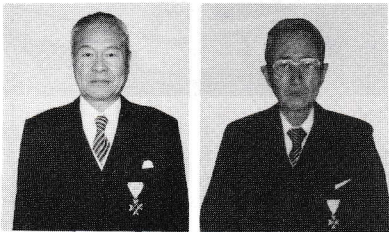
菅 優 様

(松山)

○ 勲四等瑞宝章

吉井啓郎様

(松山)



健康には私なりの生活リズムでボケ防止に努力しながら、残り少ない人生を少しでも幸せに過ごしたいと願っております。ありがとうございます。

○ 山 中 忠 広 (高知)

病は気から!! 目的が無いから気力が無い、趣味も無いので生き甲斐も無い、あり余る時間に殺されそう。

就学を目標とするも覚えが悪く忘れっぽい、根気も無いのにトップを? とは愚かな考えか。

六十五才で大学受験中入院、腹を真二つに切り、二月半ば退院、ストレス性十二指腸潰瘍とか。

病気でないのに二年間半病人、昔の戦友や上司の、生きているのが不思議な闘病体験を聞き、叱られ励まされたお陰で、何時の間にか憑き物が落ちたよう、今は元気で週一回の老人大学の受講を楽しんでいる。

○ 橋 田 正 義 (須崎)

一昨年八月末、バイクで転倒して入院、脑梗塞で一か月寝たきりでしたが、家内に助けられて、一生懸命リハビリに励みました。

脳外科のよい先生にお世話になり、二か月半で退院、その後は家内の付添いで二週間に一度通院しております。

お陰様でずっとよくなり、毎日二キロ位歩いておりますし、敬老会に出席して皆様に大変喜んでもらったり、本当によかったと思っています。

好きなゲートボールにも行っており、八十才ですが体に気をつけて頑張ります。

電気通信産業功労賞を受賞

上 田 昇様 (松山)

多年にわたり、電気通信産業の発展に尽力されたご功績により、さる一月二三日、社団法人電気通信協会長(米澤滋氏)から、電気通信産業功労賞が贈られ、表彰されました。まことにおめでとうございます。

電信電話記念日の表彰

さる十月二十三日の電信電話記念日(NTT第五回)に当たり、永年電信電話事業に協力したかどにより、次の方々が四国支社長から表彰されました。おめでとうございます。
○須賀田初子様(松山) ○筒井武徳様(松山)
○久米 実様(高松) ○湊正男様(阿南)
○山下道雄様(高知) ○高市沖見様(松山)

NTT情報



ドライブスルー

ATM設置

11月20日(月)

NTT松山では、電話料金自動収納機(ATM)を支店西側に設置して、十一月二十日(月)から車に乗ったままで電話料金の支払いが出来る「ドライブスルーコーナー」を設



けました。これは、営業時間外に来店されるお客さまの利便と、駐車場の混雑緩和が少しでも改善できればとの考えによるものです。今回設置した電話料金の自動収納機(ATM)は、①請求書内容の読み取り、②料金の受け取り、釣銭の返却、③領収書の発行、④社内関係部門への連絡を自動的に行う機能を備えています。サービス時間は、午前九時から午後八時までで、日曜・祝日もご利用いただけます。

NTT松山では、今回のドライブスルー式料金支払所の設置で、お勤めなどで、昼間に時間の取れない方へのサービス向上が図れるものと期待しています。
新しい生活情報の発信基地

「NTTインフォメツセ松山」を開設!

NTT松山支店もしもしロビーに、今年二月オープン

NTT四国では、平成二年二月から、NTT松山支店もしもしロビー(松山市一番町四

二)に、新商品情報提供とコミュニケーションのスペース「NTTインフォメツセ松山」を開設します。

このスペースには、「キッチン」「インテリア」「ハウスキーピング」「エンジョイライフ」をテーマとして、参加していただいた企業からの新商品情報を、システム手帳サイズの「生活インデックス」(新商品情報カード)にまとめ、自由にお持ち帰りいただけるように展示します。

また、女性のための生活者本音雑誌「さやえんどう」や、生活評論家・消費生活アドバイザーが新しいライフスタイルを紹介する生活提案誌「LIFEプラス」も展示、配布等も行います。

このほか、新商品に直接ふれていただく「新商品体感ディスプレイ」、生活まわりの商品のことや、暮らしの情報などを交換しあうことのできる「コミュニケーション・スペース」、生活インデックスや体感ディスプレイで紹介されている商品の、より詳しい内容や、その地域での取扱店など、来店者の方々のお問い合わせに答える「ホットラインコーナー」を用意します。

NTT四国では、この「インフォメツセ松山」の開設により、NTT松山支店の窓口が新しい生活情報の発信基地となり、生活者と企業、地域社会を結ぶ新たなコミュニケーションの場に発展出来ればと考えています。

なお、「インフォメツセ」は、今年の九月二十五日、東京のNTT青山とNTT神田でのオープンに続いて、大阪・札幌・仙台・名古屋・広島でもオープンしており、「NTTインフォメツセ松山」は、四国では初めての開設となります。

「インフォメッセ」とは、

ドイツ語の〔^{インフォマティオン}information (情報)〕と〔^{メッセ}messe (市場)〕を組み合わせた「情報市場」という造語。

「企業と生活者」「生活者間」「専門家と生活者」あるいは、「専門家と企業」を2WAY (ツーウェイ) で結び、フェイス・トゥ・フェイスで心を伝え合い、その中で本当に役立つ情報を、お客さま、そして企業に提供していきます。

展示内容の概要

○生活インデックス (新商品情報カード)

- ・システム手帳サイズの「生活インデックス」新商品情報カードをご自由にお持ち帰りになれます。この新商品情報カードは、女性の関心が高い「キッチン」「インテリア」「ハウスキーピング」「エンジョイライフ」の4項目の分野の専門スタッフが「公平な立場でセレクトした商品情報」です。

○さやえんどう (生活者本音雑誌)

- ・生活者の本音情報を満載した雑誌「さやえんどう」をご自由にお持ち帰りになれます。この「さやえんどう」は、新商品を実際に使用した感想や、新しい使い方のアイデア等の情報を満載した情報誌です。

○L I F E プラス (専門家による生活提案誌)

- ・専門家による生活提案誌「L I F E プラス」を催し物などに協力してくださった方々に差し上げます。この「L I F E プラス」は、生活まわりの専門家による新しいライフスタイルの提案誌で、第1号は環境保全をテーマにした「地球とコミュニケーション」シリーズ、暮らし方の知恵と工夫を紹介しながら地球環境について考えていきます。

○新商品体感ディスプレイ

○ホットライン・コーナー

○コミュニケーション・スペース

愛媛電友会第二八回総会

域ス

菊花薫る十月二三日、松山市・愛媛文京会館に約五百名の出席を得て盛大に挙行された。

記念式典の都合上、N T Tからのご来賓がないこともあり、会長あいさつの中で六車会長は、年金問題の取り組みを始め、特にN T Tの組織改革等について触れた後、「N T Tが堅実強固であってこそ我々も安心できるものである。N T Tと同じ仲間意識を持って協力していきたい。」旨、力説された。

続いて、議長に松垣加行氏を選出して議事に入り、六四（平成元）年度会務報告、会計報告および会計監査報告を承認。二年度事業計画案および予算案を原案どおり可決した。役員改選では、現三役（会長 六車美一、副会長 菅優・西本寿恵一の三氏）を再選、他の役員については一部更迭があり、午後二時頃閉会した後、三々五々、N T Tの招待パーティー会場へと歩を進めた。（高市記）

電電徳島温古会第二八回総会

秋晴れの平成元年十月二三日、徳島市寺島本町、グランドパレス徳島において会員二五〇名の出席を得て開催した。

地行副会長の司会により、物故会員の冥福を祈って黙祷のあと、賀川会長のあいさつにつづき、ご臨席のN T T徳島支社長のご祝辞を頂戴し、新入会員の紹介、長寿会員への記念品贈呈を行ない、長寿者を代表して、越久田保之氏から謝辞があった。

このあと議長に安芸忠義氏を選出して議事に入り、昭和六三年度業務報告、同決算報告、会計監査報告を承認し、つづいて平成元年度

業務計画（案）及び同収支予算（案）を事務局提案どおり承認可決した。

役員改選においては、賀川会長が万場一致で再任され、総会を無事終了した。なお、総会閉会后、全員N T T主催の第五回電信電話記念日の祝宴に出席した。（角野記）

平成元年度N T T O B秋季テニス大会（松山）

大分秋も酷くなって来た今日この頃ですが、少し肌寒い十一月十八日（土）秋季大会を市営堀之内コートにおいて開催した。

出場者は寒さも吹っ飛ばすような活躍で、「老いて益々元氣」などを見せつけていました。結果は夫婦コンビの三好夫妻が優勝、やはりコンビのよさがものを言ったようです。本年度の大会もこれで納めなので、終って懇談会を番町会館で行ない、今年度の反省点及び来年度の計画等話合って散会した。（木村記）

優勝	三好・三好組
準優勝	藤野・内藤組
三位	山崎・溝田組
四位	松岡・木村組
五位	松垣・玉木組
六位	水野・組

初めて「小さな親切運動」を展開

近沢美義（高知）

ボランティア高知N T T O B会では、当初申し合せた研修・啓蒙活動を行なってきたが、これだけでは前進がない、とにかくやってみようということ、同会メンバー大平治男さんのイニシヤティブで、初めて、次のような実践サービス運動を行った。

〇八月二十三日水曜日、午後一時集合、四台の車に分乗、鏡川朝倉堰の子供水泳場附近

の空缶、危険物、ゴミ拾い。同じく鏡村、樽ノ滝、土佐山村、山姥ノ滝と三か所で小さな親切運動を展開し、成果を挙げた。

〇参加者一八名（女性九、男性九）それぞれ好みを利かしたオリジナル装いで、すぐくハリキッテ半日活動、動作も機敏、O Bとは思えないハリキリようであった。

〇作業開始前や要所々々で、大平高知市公害監視委員から、七つの公害防止や、清滝鏡川の保全問題等についてレクチュアを受け、勉強会もチャンとこなすという熱心振りで充実した四時間を過ごすことができた。

〇朝倉堰では、水泳監視員から丁寧なお礼を言われる等、若干面映ゆい思いをしたが、満更でもなかったのが本音。とにかく、みんな、「やって良かった。」、

「またがんばりましょう。」と異口同音。〇例によって、割勘の反省会がはずんだ。この会には、たまたま来高中の藤谷共済会四国支部長も参加して頂き、激励され、小さな親切運動の成果を賞で合った。

自己満足でも結構、少しでも人のためになれば、少しでも血液をたぎらせれば、ひいては自分の健康のためにもなる。身施（勤勞奉仕）の充実感に花が咲き、時の経つのも忘れて語り合った。

余 栄（死亡順）

- 勲五等瑞宝章 故 滝沢一郎様（伊野）
- 従六位勲六等瑞宝章 故 兵頭藤光様（松山）
- 正七位勲五等瑞宝章 故 柏木四郎様（石井）
- 従六位勲五等瑞宝章 故 河合博美様（松山）

敬 弔
次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏 名	死年月日	享年	所 属
宮本昌明様	元・2・22	六六	豊 中
川本峯治様	元・10・1	六一	土佐山田
古志内匠様	元・10・11	八九	松 山
河合博美様	元・10・31	八八	松 山
鎌田重久様	元・10・31	八四	高 知
橋本一治様	元・11・4	七五	徳 島
森谷若太郎様	元・11・10	八八	高 松
久松仁市様	元・11・24	九〇	松 山
松ヶ枝良典様	元・11・26	六六	高 松
豊島 保様	元・11・27	七一	松 山
岡本政雄様	元・11・30	六八	宇和 島

表紙のことば

白 馬



莊野 丹秀(内海)

新しい年!!

なぜか心の中に 幸を期待し 祈る

私も白馬を画いて

心ゆたかな 生活を願う

ハテナ?

地名・人名の読みはむつかしいもので、次は四国の地名の一部です、読み方は? (答は下段右)

- (愛媛) 下院里戸掛 植中女枝 木豊用山笑介立約
- 大 母三結 徳島 八十高知ノ 老
- 小 齊富御元 麻府十二(神岡大野百波尾別

ハテナ?の答 (掲載順)
げやりどぎ えうりだ きううまきげじく
お もみと(徳) か え知の ゆやめ ちゃ
かさとも おこさは いおおとどはひべ

ルウエルテ

今年度最終の退職者文化講演会開催
— 生き方の示唆に感銘を受ける —
さる十一月十日、松山市番町公民館において、弘願寺村中住職による法話「生かされて生きる」の教養講座が当支部福祉センターの主催で開催された。

人間が生きていくためにはならないものに、太陽(空)、空気(風)、火、水、大地(地)があり、仏の教えは、この五大要素を身とし心としている。
○死、老、病(生を含めて四苦)から人間は逃げられない。だから、この苦しみには耐えて生きていかなければならない。
○また、明日は分からない。暗やみである。だから今を大事に、理性のある人間として、人間らしく思いやりの心をもって生きることが大切だ。など、人生をどのような心構えて過ごしていくかを示唆した有意義な法話に、五十七名の出席者は深い感銘を受けた。

「心がふれあう
ほのぼのの写真展」を開催

当支部福祉センターでは、さる十月二十三日から同二十五日までの三日間、NTT松山支店の「もしもしロビー」で、「心がふれあうほのぼのの写真展」を開催した。
これは、退職者文化活動行事の一環として行われたもので、NTTやテルウエルのOB、現職の方々が、日頃ご家庭で、街かどで、ま

た戸外で、ほのぼのとした心のふれあいを感ぜさせる風景に出合っシャッターをきったもので、秋祭り、運動会、動物園、お孫さん、行楽地風景や街かどでの共同募金風景など、いずれも力作ぞろいの写真四七点が出展され、優秀作品十点には優秀賞が贈られた。
見学者は延べ二一三名にのぼり盛況でした。

「家庭介護者教室」を開催
— 皆んな参加の実技が大好評 —

人生八十年時代といわれる高齢化社会を迎え、NTT等退職者、現職の方々のご家庭にとっても、寝たきり老人の家庭介護は極めて重要な課題となってきました。
そのため、テルウエルでは公的福祉を補完し、ご家庭における介護の一助とするために、日本赤十字社愛媛県支部のご協力を得て「家庭介護者教室」を十月十八日、NTTプラザ松山において開催しました。

参加者は、松山市近郊の方が中心でしたが、遠く西条、新居浜、三崎町等からみえられた熱心な方もあり総数五八名。中にはご夫婦の三組や、二一名の男性の参加もあり、家族ぐるみで介護を考え取り組んでいこうと言う暖かい空気に、広い会場は満ち溢れました。
講師に日赤愛媛県支部の家庭看護教師二名をお迎えし、家庭でできる寝たきり老人の基本的な介護知識や実技について、実技を中心に受講、寝たきり老人の寝かせ方、起こし方、排せつの世話、体の拭き方、ねまきの替え方などにはみんなが代わるがわる参加し、慣れない手つきでマスターに努めていました。

参加者から寄せられたアンケートには、○参加して本当によかった。○全く知らなかったことを教えてもらい感謝している。○将来

が安心だ。○年寄りがいるのですぐ役立てた
い。○よい企画を有難う、また開催して欲しい。
など、数多くの感想をいただき、また今後につ
いては、○老人の食事・献立を……。○老人の
精神心理の話も。○シリーズで開催を。とい
ったご要望もいただきました。
今後これらのご意見を参考に、より充実
した企画をたてていきたいと思っています。

好評発売中!!

全国旅のガイドブック

価 1,000円
送 料 300円
定 1,300円

元年度改訂版ができました。
ご希望の方は、次のところへお申し込みく
ださい。

- テルウェル四国支部
- 第二営業部 (〇八九九) 三二一九九六〇
- 香川営業所 (〇八七八) 二一五一五一〇
- 徳島営業所 (〇八八六) 五二一六三二〇
- 高知営業所 (〇八八八) 八三三四一四一

随 筆

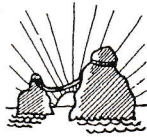
「小豆島に帰る」(上)

岡崎造船・国際ホテル

池田フェリー・N T T土庄営

業所を訪ねて

北 哲朗 (江 哲舟) (高松)



「噂で、北さんが高松へ来ていると聞いた
のに、どうして小豆島に帰らないのですか？
待っていますよ」と、私が着任して一か月目
の5月某日、突然立石さんが兵庫町の本社に
来られた。

82才の国際ホテル老社長のわざわざのご来

訪にすっかり恐縮した私の胸の中に熱いもの
が走った。一挙に12年前の出来事が走馬燈の
如く駆け巡る。それは昭和51年に襲われた未
曽有の小豆島台風との闘いのドラマであった。
当時のロータリークラブの仲間である片山
さん、岡崎さん、内海町長、それにN T T国
宗現局長さん達が待っていますとの暖かいお
話し、国宗さんからもお電話を頂く。

6月20日、思い出の小豆島へ：帰った。

先ずは土庄営業所へ、昔仕事を一緒にした
懐かしい職員のみなさんに会う、国宗さんと
次長の久保田さんのご案内で国際ホテルへ。

海を茜に染めて今にも沈みそうな夕日に映
えるホテルの一部屋、13年目の再会に少年の
ように頬を染めあう老友達の集い、瀬戸内最
大のリゾートホテルの渚には、美しい「与島」
の陰が薄紅に砕けては打ち返す、まるで今宵
の語らいを愛しさで奏でるように。

思い出のままに、老友のプロフィールを描
きつつ、味わいある今宵のお話から。

【立石 貫一】82才、土庄町鹿島に住居、
小豆島ロータリークラブ

略歴：元百十四銀行取締役

小豆島国際ホテル創立、同オーナー
西日本ホテル協会副会長
N T T公衆電話協会会長

「私は若いときから、80才現役説を唱え、
昨年ホテルを息子にゆずった。今は香川の百
才会に入って頑張っているが、おたくの中川
会長にはかなわない」

「13年前の小豆島台風では全島の救い主と
して土庄電話局の皆さんに感謝している。土
砂流と闘う小豆島」の北さんの撮ったビデオ
は町の歴史記録として保存している」
等々、ユーモアのあるお世辞を交え、お元

気一杯、中川さんも毎年ホテルに絵を書きに
来られるとかで旧知の間とか。

【岡崎 一雄】84才、土庄町大部に住居、
小豆島ロータリークラブ

略歴：岡崎造船所社長

ヨット単独世界一周の堀江邑一のマ
ーメイド製作
国際的な木造ヨットメーカーとして

著名

「島バスのストライキ全盛時代、私の会社
でもストに同調し、社長つるし上げに会い困
った。古い伝統のある舟大工は私の宝だ」

「代を息子達に譲ったが、まだまだ元気、
琴塚ヨットハーバーに是非いらっしゃい。2
3年内に立石さん、北さんたちと別府まで
瀬戸内一周のセーリングをしませんか」と、
老社長は意気軒昂。現在ハーバーに係留中の
イギリス艇の9米カタマランヨットに試乗の
お招きを受けた。いやはややお若い。

【片山鹿之助】55才、池田町に住居、
小豆島ロータリークラブ

略歴：国際フェリー株式会社オーナー、
代表取締役社長、創業以来6年間、
霊場42番札所の「西の滝」へ早朝日
参、「感謝の経営」を会得した由、
有徳の人、詩吟7段師範代、またカ
ラオケの名人でもある。

小豆島観光協会副会長、
N T T公衆電話協会会長、
「スタースクールという趣味の会を職員に
造り、自由な発想を経営に生かして15年、ア
イデア一杯の職場です」

「船舶電話加入の第一号で、北さんのアイ
デアで、船上デッキにパットゴルフの設置、
透明カプセルの公衆電話ボックス室等は大当

り、ただ今は実物大のナウマンゾウを置いて夢を提供しています。帰りに見てください」
 「台風の時、池田町谷尻で土砂流に28人が人家諸とも流失した。風雨の海から漁船で駆けつけ、いち早く赤電話を開設した電話局の人々に町民は今も感謝している」

そこには躍動する若々しい創業者の顔があった。QC活動のはしりで職場の活性化に成功しているアイデア社長さんの楽しいお話が続く。池田港の社屋を「チョウウサ」形の祭り御輿にし、上階の御神体部分を円形の展望会議室にした。20人ほどがコーヒーを呑みながらミーティングができる是非見て下さい」等々。

実感と虚感

福本 豊 (小松島)

松尾芭蕉の名句「荒海や佐渡に横たふ天の川」に対して、学者からクレームがついたと朝日のコラム欄にのっている。新潟大学の教授のエッセーによると、佐渡だけでなく、北半球のどこからでも、夏の天の川が横たわって見えるところはなく、頭の上に直立している。

特に荒海の時には天の川が見えるはずがないと言っている。芭蕉ブームにあやかって、最近発行された郵便切手の図案も、島影の上に横たわる天の川が描かれている。「切手の絵は写生ではなく、俳句のイメージである」と、郵政省では説明しているそうであるが、まさか芭蕉に「訂正してくれ」ともいえないであろう。

俳句や短歌の短詩形文学では実感と虚感があると聞いているが、特に俳句は伝統の根本におかしみを置く詩形と言われているので、

この芭蕉の作品はおそらく後者に属するのではないかと推測される。天の川といえ、小林一茶の作品に「うつくしや障子の穴の天の川」という名句があるそうだが、頭の上に直立している天の川が、障子の穴から美しく見られるであろうか、いささか疑問であり、これも虚感でないかと想像される。自分もかつて短歌の会に入り学習していたころ「春過ぎて越路の磯も水ぬるみ漁る海女は海に潜りぬ」と虚感作品を提出して、先生から「北陸の旅の情緒をスマートに表現している」と推選された記憶がある。

小説やドラマなどの文芸作品にもフィクションは多く見られる。いづれにしても人生は「駆け引きと妥協の世界といわれている。学説は別として、老の一撤で「天の川が見えるはずがない」と言い掛りをつけるほどのこともあるまいと思っている。

シンガポールを偲んで

山口 満夫 (松山)

当時のマニラ市内の繁華街といえ、エスコルタ街だった。バーでウイスキーを飲み、意気投合すればカロマト(二輪馬車)に乗り、朝方まで飲み歩いてホテルに帰館したものだ。戦時中とはいえ、飛行便を待っている軍人軍囑は私だけではなかったでしょう。占領中南方で原地人と仲よくするには、先ず金と親切心、あとは勇気だけで結構楽しく過ごすことができるというもの。

滞在十一日の翌朝、マニラ地区の飛行班長より内密の電話あり、幸運にもいよいよシンガポールへの出発である。南方行きの飛行便はジャワ、スマトラ、ビルマ、タイ、シンガポールのコースに区分され、高級職業軍人や

囑託がホテルや市内で一か月以上待機していることは普通の状態だった。たかが陸軍中尉相当官の囑託の私が、十一日の滞在で出発することが出来たのは、航空本部囑託が物を言ったのかも知れません。

翌朝未明飛行場に急行、簡単な身分検査、体重、荷物の制限を通過、機内に入り込んだ。二十四人乗りのMC機内には全員七名だけ、私には理解できなかったが、十八年暮より南方総軍のサイゴンへの移動は極秘に計画され、空輸計画についても、軍人軍囑や物資の輸送もさることながら、公文書の輸送が先行されたのだった。当時すでにガダルカナル、ブーゲンビル島など、戦局は次第に不利が報ぜられ、大本営発表も緒戦のような華やかさはなかったようだ。

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 二月二〇日
- ・ 字数はなるべくお守りください。
 - ・ 原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国連合会会報 第六九号
 平成二年一月一日発行
 編集発行 電友会四国連合会
 事務局
 松山市一番町四一三(二七九〇)
 NTT四国支社内
 電話(〇八九九)三六一二〇二三
 印刷 四国電話印刷株式会社

 **NTT**

IC+データ留守番電話機

NTT・るすてる 250

不在中も在宅中も
簡単操作の快適テレホン



ハンズフリー機能と音声時計で
ナイスコミュニケーション

販売価格 **¥28,800** (消費税別)